

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成20年10月9日(2008.10.9)

【公開番号】特開2008-8791(P2008-8791A)

【公開日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-002

【出願番号】特願2006-180320(P2006-180320)

【国際特許分類】

G 0 1 N 27/04 (2006.01)

G 0 1 N 27/02 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 27/04 A

G 0 1 N 27/02 D

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月26日(2008.8.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

並んで延びる少なくとも二対の導線が、ともに防水性及び絶縁性のある担持体と被覆体との間に挟み込まれ、この被覆体又は担持体には、少なくとも一对の導線同士を関連付ける尿導入孔が形成されると共に、他の対の導線同士を関連付ける便導入孔が形成され、尿が上記関連付けられた尿導入孔内に入ると上記一对の導線間が短絡し、便が上記関連付けられた便導入孔内に入ると上記他の対の導線間が短絡するようにしたことを特徴とする排泄物検知センサ。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の排泄物検知センサにおいて、所望の対の導線同士がこれらの導線よりも抵抗値の大きい高抵抗導線で結ばれたことを特徴とする排泄物検知センサ。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 に記載の排泄物検知センサにおいて、担持体に導線が印刷され、その上から被覆体が印刷されたことを特徴とする排泄物検知センサ。

【請求項 4】

請求項 1 乃至請求項 3 のいずれかに記載の排泄物検知センサにおいて、担持体及び被覆体を厚さ方向に貫通する尿通過孔が設けられたことを特徴とする排泄物検知センサ。

【請求項 5】

請求項 1 乃至請求項 3 のいずれかに記載の排泄物検知センサにおいて、導線が導電性カーボンを含んだ導電性インキで印刷されたことを特徴とする排泄物検知センサ。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の排泄物検知センサにおいて、所望の対の導線同士がこれらの導線よりも抵抗値の大きい高抵抗導線で結ばれ、導線の印刷インキは高抵抗導線の印刷インキよりも導電性カーボンをより多く含んでいることを特徴とする排泄物検知センサ。

【請求項 7】

請求項 1 乃至請求項 6 のいずれかに記載の排泄物検知センサにおいて、尿導入孔が設けられる被覆体又は担持体が印刷インキ層の積層体として形成され、この積層体のうちの少なくとも一層が尿レジストインキで形成されていることを特徴とする排泄物検知センサ。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の排泄物検知センサにおいて、尿レジストインキが、ポリエステルポリオールとイソシアネートとのウレタン結合インキ又は UV 硬化型樹脂インキであることを特徴とする排泄物検知センサ。

【請求項 9】

請求項 1 乃至請求項 3 のいずれかに記載の排泄物検知センサにおいて、導線が、導電性物質として導電性カーボンのみを含んだ導電性インキで印刷されたことを特徴とする排泄物検知センサ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また、この排泄物検知センサ（5）において、担持体（6）に導線（1，2，3，4，14）を印刷し、その上から被覆体（7）を印刷するようにしてもよい。導線（1，2，3，4，14）は導電性カーボンを含んだ導電性インキで印刷してもよい。導線（1，2，3，4）の印刷インキは高抵抗導線（14）の印刷インキよりも導電性カーボンをより多く含んでいるものとすることができる。尿導入孔（8）および便導入孔（9）が設けられる被覆体（7）又は担持体（6）は印刷インキ層の積層体として形成し、この積層体のうちの少なくとも一層（7b）を尿レジストインキで形成してもよい。この場合、尿レジストインキは、ポリエステルポリオールとイソシアネートとのウレタン結合インキ又は UV 硬化型樹脂インキとすることができる。